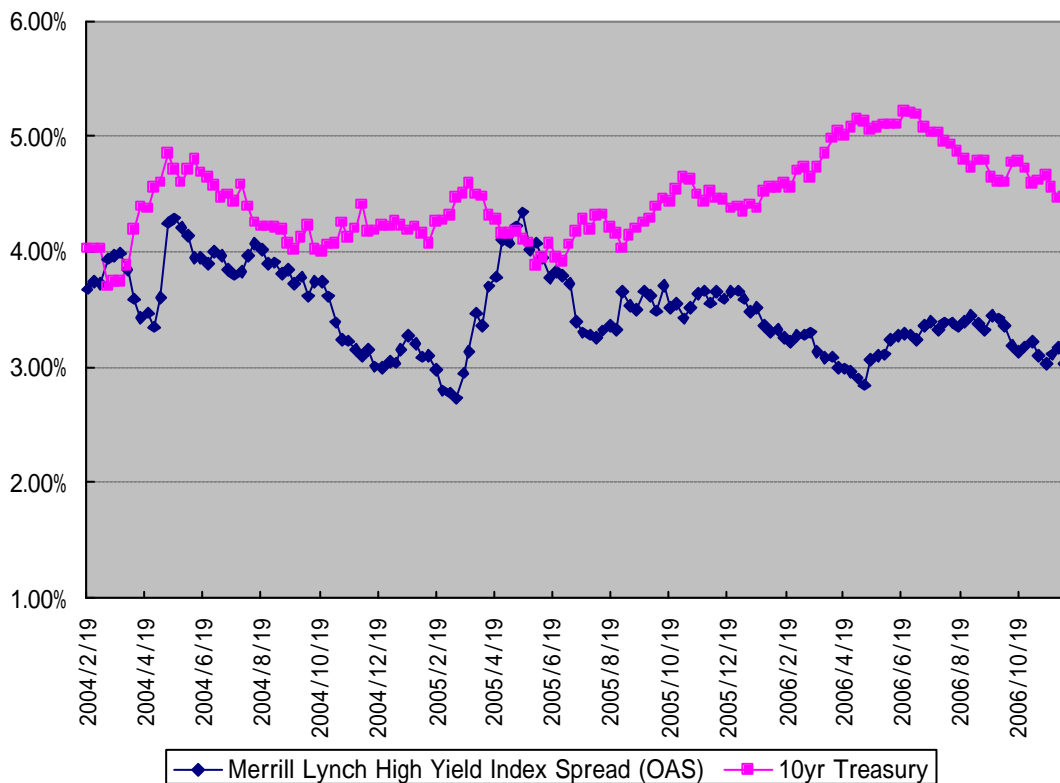


## 米国社債市場

市場コメント(12月16日～12月22日の週)

債券全体では最終的に週末の売りに押された形だが、アメリカ小売業協会によるクリスマス商戦のデータが発表され、前年比5.0%増と、10年平均の4.6%を更に上回るという記録的売り上げとなった。こういう状況下で社債が売られるはずもなく今年一年を通して最もタイトなスプレッドで終了する事が濃厚となりつつある。ハイイールドはもちろん、エマージングも一様に記録的タイトニングを示しており、当面波乱を予想する向きは少ないようだ。予想通りこのままソフトランディングしていくのかどうか、状況を見極めて行く事になる。

ハイイールド債券スプレッドと米国10年債利回り



本資料は、証券投資の参考となる情報の提供を目的としており、証券の売買勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。